

川のことをよく知り、 川を楽しもう



かわあそ ごかじょう 川遊びの五箇条

一. 川は私たち生き物の源。魚・虫・鳥などの動物や、植物のことをたくさん感じよう。

二. 川へは一人で行かない。仲間どうし、お互いに注意しあって楽しく遊ぼう。

三. 川には魅力もあるが怖いところもある。自分でよく考え、自分のことは自分で守ろう。

四. 川は常に変化している。遊ぶ前に下見し、遊んでいるときは天気や流れを確認しよう。

五. 川へ入るときはライフジャケットをきちんと着けよう。

注目

かわ とき

こわ

川は時として怖い場所になることもあります。

川はとても楽しく、面白いところですが、上流や近くで雨が降ったりすると、川の水が急に増えて流されてしまうなど、時として怖い場所になることもあります。



兵庫県都賀川では、周辺に降った大雨で川の水が急に増え、子ども3人、おとな2人が流れ死んでしまいました。

1 準備をして、川へ出かけましょう



- 177などで天気予報を確認しましょう
- 服装や履物をチェックしましょう
- 持ち物をチェックしましょう
- だれといっしょに行くか、必ず伝えましょう
- かぜをひいていませんか、ケガしていませんか、
何となく行きたくない感じはありませんか



- みず はい ふくそう
水に入るときの服装
- ライフジャケット
 - ぬれても良い服装
(乾き易いナイロン製のものなど)
 - 靴: 脱げなくて、ぬれてもいい運動靴
(ウォーターシューズ、リバーシューズなど)
 - ビーチサンダルは脱げて危険なので
使用しないこと など

2 川に着いたら



- 上流や下流の様子を確認し、危険な場所を探してお互い注意しましょう
- 流れのはげしい所や深そうな所など、川岸や川床の様子なども注意しましょう
- 服装をお互いに確認しましょう
- 雨のあとなど、増水しているときは川に入らないようにしましょう
- 看板や逃げ道を確認しましょう



3 こんなときはすぐに川から出ましょう

- 空が急に暗くなったり、雷が鳴ったらすぐに川から逃げましょう
- 橋の下で雨宿りせず川からあがりましょう
- 自分で判断し、自分の身は自分で守りましょう
- 危険を感じたら、周りにも声をかけましょう

- かわら みずべ かつどう
川原や水辺で活動するとき
の服装
- 帽子をかぶる
 - 軍手をする
 - 動きやすい服装
 - ぬれてもいい歩きやすい靴など